

至 急

山ト協適第 161 号

平成 28 年 3 月 22 日

会 員 各 位

(公社) 山形県トラック協会

会 長 矢 野 佳 伸



貨物自動車運送業の安全確保の徹底について

標記については、「安全運行の一層の徹底について」(平成 28 年 3 月 18 日付け全日本トラック協会会長通達)により周知したところです。

同日付けで別添のとおり、国土交通省自動車局長から(公社)全日本トラック協会会長を通じて同種事故の再発防止通達が発出されましたので、指導事項 2 点について所属運行管理者及び運転者等に指導徹底していただき、重大事故の防止に万全を期すようお願い申し上げます。

(担当)

適正化事業部次長 大瀧

TEL 023-624-1989

FAX 023-633-0989



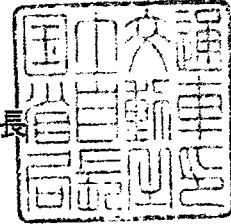
国自安第288号

国自貨第167号

平成28年3月18日

公益社団法人全日本トラック協会会長 殿

国土交通省自動車局長



### 貨物自動車運送事業の安全確保の徹底について

3月17日、広島県東広島市の山陽自動車道の八本松トンネルにおいて、トラックが渋滞中の車両に追突し、2名が死亡し、多数が負傷するという誠に痛ましい事故が発生した。

事故の原因については現在、警察において捜査が進められているところであるが、輸送の安全の確保は、貨物自動車運送事業者の最大の使命であり、このような事故は国民の生命、身体及び財産を害するとともに、運送事業そのものの社会的信頼を大きく失墜させるものであり、誠に遺憾である。

このため、貨物自動車運送事業の安全運行の確保に万全を期すため、貴会傘下会員に対し、安全対策及び事故防止の徹底が図られるよう、下記事項について周知徹底を図られたい。

#### 記

1. 運行管理業務を再確認し、安全確保の原点に立った確実な運行管理を実施すること。特に次に掲げる事項を適切に実施すること。
  - (1) 貨物自動車運送事業の事業用自動車の運転者の勤務時間及び乗務時間に係る基準を遵守すること
  - (2) 確実に点呼を実施し、道路の状況、乗務員の健康状態、過労状態の確実な把握に努めること
  - (3) 運行指示書を作成し、適切な指導を行うこと
2. 運行にあたっては、車両の点検整備を確実に実施するとともに、乗務員に対して制限速度の遵守をはじめとした道路交通法等の法令遵守の徹底を図るなど、安全の確保を最優先するよう関係者に徹底すること。

# 暗闇 数百人走り避難

## 山陽道 炎上がるトンネル内

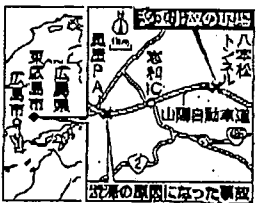


トンネル内へ入り口付近で避難する人々。写真提供：朝日新聞

山陽道山陽小野田線山陽小野田駅付近で発生した火災。逃げ遅れた乗客がトンネル内に閉じこめられ、数百人が走り避難した。消防隊員がトンネル内に入り、乗客の救出に努めている。火災の原因は不明だが、トンネル内の換気設備が故障したと見られる。



山陽道山陽小野田線山陽小野田駅付近で発生した火災。逃げ遅れた乗客がトンネル内に閉じこめられ、数百人が走り避難した。消防隊員がトンネル内に入り、乗客の救出に努めている。火災の原因は不明だが、トンネル内の換気設備が故障したと見られる。



### すぐ車降り、表示参考に脱出

トンネル内では、トンネルの両側に設置された非常用の照明が点灯し、乗客はトンネルの両端にある非常用の出口に向かって走り避難した。消防隊員はトンネル内に入り、乗客の救出に努めている。火災の原因は不明だが、トンネル内の換気設備が故障したと見られる。

### トンネル事故 遭遇したら…

トンネル内では、トンネルの両側に設置された非常用の照明が点灯し、乗客はトンネルの両端にある非常用の出口に向かって走り避難した。消防隊員はトンネル内に入り、乗客の救出に努めている。火災の原因は不明だが、トンネル内の換気設備が故障したと見られる。

トンネル内では、トンネルの両側に設置された非常用の照明が点灯し、乗客はトンネルの両端にある非常用の出口に向かって走り避難した。消防隊員はトンネル内に入り、乗客の救出に努めている。火災の原因は不明だが、トンネル内の換気設備が故障したと見られる。

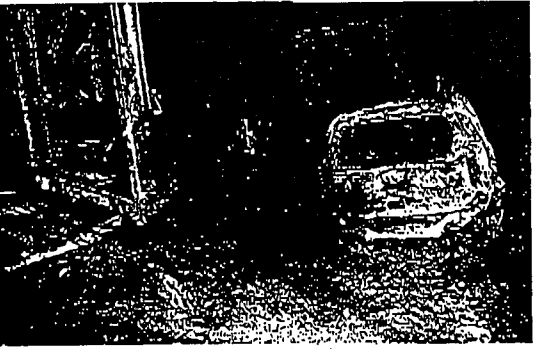
トンネル内では、トンネルの両側に設置された非常用の照明が点灯し、乗客はトンネルの両端にある非常用の出口に向かって走り避難した。消防隊員はトンネル内に入り、乗客の救出に努めている。火災の原因は不明だが、トンネル内の換気設備が故障したと見られる。

トンネル内では、トンネルの両側に設置された非常用の照明が点灯し、乗客はトンネルの両端にある非常用の出口に向かって走り避難した。消防隊員はトンネル内に入り、乗客の救出に努めている。火災の原因は不明だが、トンネル内の換気設備が故障したと見られる。

# トラック、ブレーキ痕なし

## 山陽道トンネル事故 運転手を聴取

広島県東広島市の山陽自動車道トンネルで2人が死亡した多発事故で、追突していた別のトラックが追突した直後の直前にブレーキ痕がなかったことが18日、関係者の取材を分かった。関係者は、追突していた別のトラックの男がブレーキを踏んでいなかった可能性があるとの見方を示している。関係者は、追突したトラックの運転手がブレーキを踏んでいなかった可能性があるとの見方を示している。関係者は、追突したトラックの運転手がブレーキを踏んでいなかった可能性があるとの見方を示している。



山陽自動車道下り線八本松トンネル内の多発事故で焼け残った車両（17日、広島県東広島市）＝広島県警提供

関係者は、追突したトラックの運転手がブレーキを踏んでいなかった可能性があるとの見方を示している。関係者は、追突したトラックの運転手がブレーキを踏んでいなかった可能性があるとの見方を示している。関係者は、追突したトラックの運転手がブレーキを踏んでいなかった可能性があるとの見方を示している。

関係者は、追突したトラックの運転手がブレーキを踏んでいなかった可能性があるとの見方を示している。関係者は、追突したトラックの運転手がブレーキを踏んでいなかった可能性があるとの見方を示している。関係者は、追突したトラックの運転手がブレーキを踏んでいなかった可能性があるとの見方を示している。